

長野陸協 会報

NAA
Nagano Athletics Association
一般財団法人長野陸上競技協会

2023.07.18

vol. **178**

8:36.06

永原 颯磨

(佐久長聖高校3)

予選

8:36.06

1組

3000mSC

NISHI

3000mSC 8:36.06 2023/6/17 富山県総合運動公園陸上競技場

日本高校新記録 (北信越・長野県高校新)

NISHI

スポーツくじ

WINNER
RECORD-BREAKING

LOCO

BIG

法人化後 第 13 期 役員(理事・監事)改選

2028 年国スポ開催に向けて、長野県の総力を！

会 長・代表理事 萩 原 清

この度、一般財団法人長野陸上競技協会会長を重任となりました萩原清です。

会員の皆様には、日頃の競技運営から、陸上競技の普及、競技力向上など定款第 2 章の目的及び事業の達成に向けて日頃からご尽力いただき、誠にありがとうございます。

令和 5 年は、昨年末の女子第 34 回全国高校駅伝長野高等学校の優勝、男子第 73 回全国高校駅伝佐久長聖高校準優勝（日本高校最高記録）の勢いをもとに、第 28 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会最多の 9 回目の優勝からスタートしました。

コロナ感染予防対策の中ではありましたが、選手の皆さんはじめ、本協会関係者の皆さんの頑張りは、多くの長野県民の皆さんに陸上競技のすばらしさを実感していただくとともに、これからのスポーツの普及と振興に多くの示唆をもたらすことにつながっていると思います。

そして、これから 2028 年に開催される「第 82 回国民スポーツ大会」、「第 27 回全国障がい者スポーツ大会」に向けて、長野県全体で総力をもって取り組むきっかけになったと実感しております。

心配されていた松本平広域公園陸競技場の解体工事も進み、補助競技場での競技運営もようやく軌道に乗ってきました。まだ、運営面でもいくつかの課題があるかと思われませんが、メイン競技場が完成されるまで、中信地区の会員の皆さんを中心に総意をもってご尽力いただければと思います。

また、松本平広域公園新陸上競技場の設計も終了し、サーフェスの仕様など設置備品発注に向けて最終段階にきています。5 月には公告され、9 月末には施工業者も決まる見込みです。現時点では、2026 年 4 月の竣工を目指して、長野県建設部施設課中心に、関係機関で連携して総力をもって取り組んでいただいています。

改めまして、関係機関をはじめ、多くの皆様から本会の事業達成に向けて、多大なご支援とご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

併せて、本競技協会が新役員とともに、5 年後の 2028 年国スポ開催に向けて良きスタートを切り、様々な課題に対応できるよう協会会員の皆様のさらなるご尽力ご協力をお願いいたします。

持続可能な長野陸協を目指して

会長代行・代表理事 内 山 了治

今回、会長代行（代表理事は継続）を仰せつかりました。「信州やまなみ国スポ・全障スポ」に向けた取り組み他、引き続きよろしくお願い申し上げます。

定款の改定は法人化後の大きな改革であり、昨年の 9 月に理事会で方針を固め、人事委員会・法制委員会他のご意見を確認し、本年 1 月の理事会で確定、3 月の評議員会で決議されたものです。役員は 6 月の定時評議員会、理事会で確定しました。

主な改正内容は次のとおりです。理事数を 2022 年度比 4 名減・コンパクトな理事会とし、持続可能な組織を目指す。二人目の代表理事を理事長から副会長・会長代行に移し、これまでの理事会等の運営上の問題点を解消。同時に、理事長を専務理事に、副理事長を常務理事に役職の名称変更。また、専務理事が中心となる事務局の体制を強化し、事務所を塩尻市広丘に移転。総務委員会女性部を格上げし「女性スポーツ委員会」とし、さらに、競技者の声を協会運営や競技会等に反映しやすくするため、「アスリート委員会」を新設しました。New NAA をよろしくお願いします。

副会長・業務執行理事 小林 高茂

この度の役員改選におきまして副会長を仰せつかりました。

国スポの長野県開催が 5 年後に迫り、メイン会場となる松本陸上競技場の改修に取りかかる重要な時期。昨年は伝統ある長野県縦断駅伝が大きく様変わりしました。今年度から県陸協中枢部の役員名称をはじめ任務体制にも変化がありました。様々な大きな変化が進行しております。また、長野県関係の多くの選手たちの活躍に嬉しさと誇らしさを感じるとともに、新しい芽を探し伸ばし、これからの長野県陸上界をさらに発展させてゆく大仕事もあります。

このような時期に、副会長は昨年までの 4 人体制から 3 人となる組織改定もあり、組織運営に関わる職務を考えると気が引き締まる思いです。

萩原会長、内山会長代行をはじめ、多くの役員の皆様とともに協会の運営と発展のため力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

長野陸協 2023年度 評議員、役員、名誉役員、地区役員、代表監督、事務局他一覧 (2023/6/30現在)

評議員 外部:嶋田 隆、南信:竹内 秀樹、高野 喜宏、中信:工藤 忠好、名取 充
北信:小林 靖志、足立 洋美、東信:箕輪 健二、白川 雅三、協力団体:細田 健司(高体連)

(敬称略)下線:2023新任
着色:2023新規
青字:2023変更

役員(理事25名<女性20.0%>、監事3名)			
役職	氏名	所属等	長野陸協担当
代表理事	萩原 清	長野県議会議員	会長
代表理事	内山 了治	長野高専名誉教授	会長代行、国スポ、財務、栄章、法制
業務執行理事	小松 茂美	—	副会長、国スポ
業務執行理事	小林 高茂	—	副会長、人事・役員選出
業務執行理事	葛城 光一	(有)丸ノ内企画	専務理事、事務局長
業務執行理事	百瀬 貴	—	常務理事、経理部長、指導者育成
業務執行理事	田澤 稔	松本大学	常務理事、施設用器具委員長
業務執行理事	青柳 智之	波田小学校	常務理事、競技運営担当
業務執行理事	横打 史雄	長野東高校	常務理事、普及強化委員長
理事	桐山 勝次	伊那東部中学校	競技運営委員会委員長
理事	小林 幸太郎	飯山高校	競技運営委員会審判部長
理事	細田 和生	上田第一中学校	競技運営委員会競技部長
理事	掛川 和彦	丸子修学館高校	競技運営委員会道路競技部長
理事	瀧沢 佳生	(株)クリエイティブヨーコ	競技運営委員会記録部長
理事	小川 靖	浅間中学校	施設用器具副委員長
理事	篠原 克修	茅野アスレックス	普及強化委員会普及部長
理事	跡部 定一	野沢中学校	普及強化委員会ジュニア部長
理事	芳川 千恵	高社小学校	女性スポーツ委員会委員長
理事	春原 タ子	野沢南高校	女性スポーツ委員会副委員長
理事	柄澤 真野	茅野高校	庶務担当
理事	小穴 智恵美	(有)小穴工業	事務局補佐
理事	倉科 浩美	松川小学校	外部理事 全般
理事	白澤 聖樹	松本大学	県学連理事長
理事	内堀 俊彦	佐久総合技術高	県高体連専門委員長
理事	荒井 洋光	鉢盛中学校	県中体連専門委員長
監事	山崎 喜美男	外部	
監事	杉崎 憲雄	東信陸協	
監事	長田 雄介	外部	おさだ法律事務所(弁護士)

名誉役員②⑩			
名誉副会長 伊藤 利博 城田 忠承			
顧問	小澤 虎雄	酒井 譽	千代 馨脩
⑨	細田 紀一	下川 泰秀	浦野 義忠
	堀 晃(再)	富松健夫(再)	細田 完二
参与	宮坂 繁	林 嘉久夫	高野 正己
⑨	北原 勲	唐澤 君雄	大竹 義雄
	宮島 義征	北島 正孝	熊谷 賢二

理事以外の委員長・部長・担当者			
評議員選定委員長他	細田 完二	—	
医事委員長・医事部長	横井 謙太	岡谷市民病院・医師	
アスリート委員会委員長	村澤 智啓	県工業技術センター	
普及強化委員会強化部長	中津 敦喜	須坂創成高校	
普及強化委員会駅伝部長	丸山 健志	丸山農園	
医事委員会トレーナー部長	常田 真樹	信濃町役場	
普及強化委員会会計	三代澤 芳男	豊科高校	

地区	会長	理事長	事務局担当
南信	田中 米人	武居 悠輔	堀向 英次
中信	百瀬 貴	田澤 稔	水谷 範久
北信	三條 俊彦	矢野 清隆	村田 修一
東信	箕輪 健二	吉田 淳一	内堀 俊彦

協力団体	会長	理事長	
県学連	小口 正行	白澤 聖樹	
高体連	会長	専門部部長	委員長
	桑原 俊樹	小林 敏明	内堀 俊彦
中体連	会長	競技部長	委員長
	秋山 昇	出口 哲朗	荒井 洋光
実業団	会長	常務理事	事務局長
	杉崎 憲雄	青柳 建夫	北島 正孝
マスターズ	会長	理事長	事務局長
	山岡 清孝	山本 大八	中村 一郎

長野県代表チーム団長・監督			
国体監督 男子	中津 敦喜、女子	名取 和訓	
JOCジュニアオリンピックカップ U16大会監督	跡部 定一		
全国小学生交流大会監督	篠原 克修		
全国駅伝男子	団長	内山 了治、監督	高見澤 勝
全国駅伝女子	団長	葛城 光一、監督	横打 史雄
東日本女子駅伝	団長	丸山 健志、監督	横打 史雄
山陽女子ロード	監督	丸山 健志	

事務局			
局長	葛城 光一	次長・経理部長	百瀬 貴
局員	小穴 智恵美	柄沢 真野	三代澤 芳男
	小矢沢 周一		
	小松 茂美(副会長)	内山 了治(会長代行)	
	田澤 稔(常務理事)	青柳智之(常務理事)	

他団体役員等			
WA(世界陸上競技連盟) Technical Officials course-Level I			
NTO's:玉城 良二、酒井 剛、青柳 智之、横打 史雄			
小林 幸太郎、犬飼 七タ子、小林 南実			
日本陸連 常務理事:内山 了治、エデュケーター:百瀬 貴			
競技運営委員会委員・日本陸連JTO's:青柳 智之			
JRWJs(日本陸連競歩審判員):後小路 正人			
検定員・自転車計測員:赤沼 広志、自転車計測員:池田 圭吾			
区域技術役員:峯村 修平、池田 圭吾			
東海陸協 副会長 萩原 清、常務理事 内山 了治、理事 芳川 千恵			
国スポ準備委員会:萩原 清、競技運営専門委員会:青柳 智之			
競技力向上対策本部 競技委員:横打 史雄、(内山了治:県スポ協)			
(公財)長野県スポーツ協会 評議員:内山 了治			
競技力向上委員会委員長:内山 了治、副委員長:中津 敦喜			
スポーツ指導者連絡会議長野陸協代表者:百瀬 貴			
長野マラソン事務局:大澤 幸造			
松本マラソン事務局:田澤 稔			

新任のごあいさつ

専務理事・業務執行理事 葛城 光一

今般、長野陸協専務理事を仰せつかりました。もとより力足らずで専務理事の重職を担う器ではございませんが、陸協人事でのご推薦を受け、微力ながらお受けいたしました。つきましては、会員の皆様をはじめ長年サポートして頂いている企業や団体の皆様方に相変わらずのご協力とご支援をお願いするところです。

これまで約 20 年間陸協役員を務めてきましたが、いずれもお力のある理事長の下でのことです。自分自身が先頭に立って何ができるのか一抹の不安もありますが、幸い恵まれた人材に助けをいただながら自分らしさを出せたら幸いです。

長野陸協の組織も今年度から専務理事、常務理事の体制になり、代表の下組織運営を行う体制に変わりました。また総務委員会を廃止し、塩尻市に新たに賃借しました新事務所を拠点に事務局体制を充実していくところです。また今まで総務委員会に所属していた女性部を独立し「女性スポーツ委員会」とし広く協会の福利厚生面を担っていただきます。併せて「アスリート委員会」を新設し、競技者の立場からも協会運営に助言していただく体制を進めていきます。

令和 10 年(2028 年)に長野県で開催予定の、第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会に向けた協会組織力の充実・向上と選手育成強化、そして今後の競技会と事業の成功に向けて、微力ながら最善を尽くす所存ですので、より一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます

(新任・再任理事のみ顔写真を掲載します)

常務理事・業務執行理事 百瀬 貴

常務理事・経理部長・事務局次長を仰せつかりました。以前庶務部長を務めさせていただきましたので、19 年ぶりの県陸協の役員となります。その当時と県陸協も大きく様変わりしておりますので、新たな気持ちで業務に取り組んで参りたいと思います。

そして 2028 の国スポの成功に向けて、県陸協として様々な課題解決に取り組んでいかなければならない状況下において、多くの皆様とともに業務執行理事としてその職責を十分に果たして参る所存ですのでよろしくお願いいたします。

常務理事・業務執行理事 田澤 稔**(施設用器具委員長、松本マラソン事務局担当)**

新常務理事として、本会の定款第 2 章の目的及び事業の達成のために全力で執務に臨みたいですが、特に施設用器具委員長としては、施設用器具委員会の開催の実現。補助競技場の運営に関わる改善や工夫の提案。新競技場に関わる情報の周知や関係機関との連携を中心に行います。

また、松本マラソン事務局として、実務者会議の参加。競技運営のサポート。大会運営、審判配置の業務など大会の成功を目指して取り組みたいです。

常務理事・業務執行理事 青柳 智之

この度、常務理事(競技運営担当)を拝命いたしました。競技運営委員長としての 8 年間、皆様の献身的なご支援のもと、全国的にもハイレベルな競技運営を行うことができました。本当にありがとうございました。

来たる 2028 年国スポに向けて、さらなる競技運営力の向上を目指さなければいけません。競技役員の養成、新競技場での運用方法の立案、そして日々の競技会運営。“魅せる競技会”を目指して、皆様と共に創り上げていければと思います。微力ではございますが、日本陸連の動向もお伝えしながら、尽力していきたいと思っています。引き続き、よろしくお願いいたします。

常務理事・業務執行理事 横打 史雄

この度、常任理事兼普及強化委員長を拝命いたしました。2028 信州やまなみ国スポに向け、長野県の陸上競技の普及強化に邁進してまいります。また、これを機に持続的な育成メソッドを確立させていきたいと思っています。

理事(再任) 道路競技部長 掛川 和彦

この度、道路競技部長に選任されました。長野県陸上長距離界の更なる発展を目標とし、ロードレース・駅伝競走大会の運営に携わりたいと考えております。

まずは、11 月に開催される県縦断駅伝の成功です。晩秋の風物詩として県民に親しまれている長野県縦断駅伝は昨年、これまでの 2 日間開催を 1 日開催とし、隔年で交互開催としました。昨年は長野市～岡谷市のコースで実施し、今年は松本市～飯田市のコースで実施予定です。ご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。

各種大会開催に伴いコースおよびコース周辺道路で交通規制、安全対策など大変厳しい状況のなかですが、全力で取り組んで参る所存でございますので、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新理事 競技部長 細田 和生

この度、理事及び競技部長の大役をお引き受けすることになりました。これまでの経験を生かして、競技者、観客、審判員それぞれにとって魅力ある競技会を目標に努力したいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



この4月より長野県中体連委員長として梨子田前委員長に代わり、各種競技会を計画、運営して参りましたが、陸協の先生方の審判業務へのプライドや連帯感などを毎回感じさせていただいております。長野陸協がさらに発展しますよう、力を注いで参ります。よろしくお願いいたします。

新理事 施設用器具副委員長 小川 靖

この度、佐久陸上競技協会より選出され、中体連理事以来、2度目の理事となりました。

前は中体連とのパイプ役としていろいろな願いをしてお世話になってきました。中学校を大切にいただき、普及そして強化へと先見の明を持ってご指導をいただいたことが忘れられません。今回はそれとは立場を異としながら、長野県の選手育成・陸上競技の発展へのご協力ができればと思っております。よろしくお願いします。

理事(再任) 普及部長(継続) 篠原 克修

南信地区選出の理事として、2年ぶりに理事に復帰いたしました。普及部長として小学生の陸上競技の普及と育成事業を担当します。各スポーツ団体は、子どもたちのスポーツ環境の変化への対応、とりわけ地域スポーツ環境の充実を図ることが求められています。陸上競技に触れて、楽しみ、好きなスポーツ・得意なスポーツとして選んでもらえるように、地区・支部の皆様にもご協力いただきながら、事業を進めてまいります。

新理事 倉科 浩美

競技者として10年、子ども達の指導を28年させて頂きましたが、この度、理事に就任し運営に携わせて頂けることを大変光栄に思います。

出来る限り力を尽くしたいと思います。宜しくお願い致します。

新理事 荒井 洋光

この度、新しく理事職を仰せつかりました荒井洋光(鉢盛中学校勤務)です。

理事以外の委員長・部長(敬称略)

細田委員長以外の新任者のみ写真を掲載します
 ◇評議員選定・役員選出・人事委員長 細田 完二(新任)
 ◇医事委員会委員長・医事部長 横井 謙太(重任)
 ◇アスリート委員会委員長 村澤 智啓(新任)
 ◇普及強化委員会 強化部長 中津 敦喜(重任)
 ◇普及強化委員会 駅伝部長 丸山 健志(新任)
 ◇医事委員会 トレーナー部長 常田 真樹(新任)



左から 村澤さん、丸山さん、常田さん

名誉役員について

本協定会款第41条に則り、名誉副会長2名は、6月10日の評議員会において承認され、顧問9名と参与9名は同日の理事会で議決され、それぞれ代表理事が3ページの一覧のとおり任命致しました。

顧問 本協会最高齢 97歳 小澤 虎雄さん

小澤さんは今年度の登録も継続され、顧問としてのご意見や連絡もいただき、長野陸協を長く愛されております。過日、松本支部顧問中原信一さんから電話での内容を次のとおりご報告いただきました。

『97歳を迎えられ、現在でも自転車でご移動されている登録役員としては最高齢の小澤虎雄さんは、現在も松本支部顧問として長野陸上競技協会に関わっています。松本市水汲にあった県営松本陸上競技場のことや昭和53年開催の第33回やまびこ国体競技役員のことを思い出されるとのことです。「第82回国民スポーツ大会」、「第27回全国障がい者スポーツ大会」の開閉会式及び陸上競技の会場となる新松本平広域公園陸上競技場の完成と大会成功に向けて、これからの長野陸上競技協会の発展を心より応援されている』とのことです。(文責 田澤 稔)

寄稿 「第80回理事会(新理事)から」 副会長・業務執行理事 小松 茂美

6月10日に2023年度新たに選出された理事による新理事会が開催されました。活発な意見交換が行われ、一般財団法人長野陸上競技協会（以下、陸協）の運営がより充実していく雰囲気を感じました。そのような理事会に出席する中で自分自身気持ちを新たにするとともに、考えさせられる点がありましたので、書かせていただきました。

1. 健康第一

理事会の席上、長年陸協の運営にご尽力されておられる方が複数名体調を崩し病床にある旨の報告がありました。陸協を支えていただいている皆さんは、本業を持ちながら陸協の仕事に携わっていただいている状況から、ついつい無理をしてしまいがちかと思えます。しかし、体調を崩してはやりたくないこともできません。ご家族をはじめ周囲の方々にもご負担をおかけしてしまいかねません。皆さん「健康第一」を肝に銘じ、決して無理をなさらないようお願いします。

2. 陸協の運営

理事会の会議資料に理事の責任として「約9000人の代表、陸協の事業については組織決定することが必要」と記載されています。基本的で重要な記載内容であり、実践することが求められます。組織決定をするためには6月10日の理事会のように、私たち理事が自身の考えを出し合い、忌憚のない意見交換が行われることが必要です。今後、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（以下、国スポ・全障スポ）の開催と成功に向けて、様々な課題と向き合うことになると思いますので、このような話し合いの場が多くなるものと思われます。各委員会等でも同様の話し合いを行い、個々の委員会等としての考えや方向性を出していくことも必要となります。

個々の委員会等から示された内容や役員（事務局）サイドから示された内容に質問や意見がある場合は、遠慮せず出し合い忌憚のない意見交換を行うことが大切です。そして、その結果出された内容（方向性）については、陸協として一致団結し同じ方向性を持って取り組まなければなりません。しかし、直面する課題が難題であればあるほどまとまった内容（方向性）が、個人の意見や考えと違うことも考えられます。その場合、個人の意見にとらわれすぎてしまうと組織として一枚岩になれない状況を生んでしまう危険性もはらんでいることを、私たち理事は忘れてはいけないと思います。

3. 国スポ・全障スポに向けて

(1) 部活動の地域移行に陸協としてどう取り組むか
1. でも記しましたが国スポ全障スポの開催と成功に向けて、陸協として一丸となり、それぞれができることに取り組まなければなりません。しかし、国スポ・全障スポは、陸協だけの取り組みでできるものではありませんので、他の組織・機関等と連携・協力し取り組まなければならないことは言うまでもありません。加えて、単年度限りの単発的な取り組みではなく、国スポ・全障スポの開催とその後を見据えたプランを持ち進めなければ、陸協の未来はありません。

陸協としては、国スポの運営を支えるスタッフの育成と新装なった競技会場で活躍する地元選手の育成が、特に求められています。大会運営上防げるミスがあったとか、もっと地元の選手が活躍できたのではないかといった後悔の念を持つことにならないよう「できることはやった結果」と思える充実感を持つよう取り組みを進めたいものです。

特に、選手の育成強化については、学校の部活動の地域移行への取り組みが本格化している状況があり、陸協として今後、どう競技人口を確保していくのか、選手の発掘・育成強化にどう取り組んでいくのか、この地域移行の動きにどう対応していくのか大きな課題です。これは、陸協だけでなく長野県スポーツ界全体の課題でもありますので、他の競技団体との意見交換や関係する機関との連携・協力も必要になります。地域移行を継続的なものにするためには「マンパワーが足りない現状では無理ではないか」との指摘が各方面から聞こえてきますが、少子化の現状から地域移行は避けて通れない道だと感じています。皆で知恵を出し合いましょう。

(2) 国スポ・全障スポの愛称・スローガン等

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kokutai/82kokutai/top.html> 参照)

陸協として国スポ・全障スポの開催に向け、具体的な取り組みを展開されているところですが、皆さんはその愛称やスローガン等について、じっくりご覧になったことがおありでしょうか。長野県教育委員会のHpからその内容を抜粋し改めて紹介させていただきます。

1) ロゴデザインについて

ロゴデザインについては、『やまなみ』を立体的に表現したデザインで、それぞれの頂が光輝く姿を、また、年号の0(ゼロ)にハート形のリングをあしらったデザインを用いて、手を取り合い、未来へとつながる大会を想起させる構成としています。」と説明されています。

2) 愛称「信州やまなみ国スポ・全障スポ」について

愛称の趣旨については、「大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へとつながる大会を目指します。」と記載されています。

3) スローガン「行こう。それぞれの頂へ。」について
スローガンの趣旨については、「頂点を目指すだけが大会の意味ではなく、それぞれにそれぞれが想うゴールがあります。選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、自分の思い描く頂（いただき）を目指す様子をイメージして。」と記載されています。

1)、2)、3) の内容をお読みいただくと、国スポ・

全障スポは、時代の流れの中で目指すもの、考え方（価値観）が変化していることが窺えると思います。陸協としては、これからのスポーツ界を担う存在として「新しいスポーツの在り方」を模索しつつ、国スポ・全障スポに向けた取り組みを進めることが求められているのではないのでしょうか。

理事として、自分の考えをお話することぐらいしかできず、具体的な貢献ができずに常々、申し訳なく思っておりますが、自分の考えが何かのヒントになり、皆さんが考え、行動に移すきっかけになれば幸いです。

会長代行、副会長 退任 挨拶

会長代行 退任挨拶 細田 完二

この度の役員改選により、現在の職を退くことになりました。多くの皆様方には、大変なご協力をしていただき心より感謝申し上げます。

この2年間の前半は、コロナ感染の影響で、大会等の中止・理事会等もオンラインでの会議でしたが、後半はようやくコロナから抜け出す年でもありました。

その中で、駅伝競技の大活躍が目立ちました。高校駅伝での長野東高校の優勝、佐久長聖高校の準優勝、全国都道府県対抗男子の2大会連続、全国最多となる9度目の優勝が「駅伝王国長野」の存在感が全国にさらに示された年であったと思います。後、長野県縦断駅伝大会の2日間開催が1日開催という大きな変化を見せました。

さらに振り返りますと、私が理事長の時に一般財団法人が制定された訳ですが（平成24年）、その設立までの手探り状態の苦労も思い出されます。長野陸協の更なる発展を心から祈念いたします。

退任のご挨拶 副会長 熊谷 賢二

一期2年間副会長として務めさせていただきました。大役ではありましたが自分なりに務め上げられたと思っています。しかし、貢献度でいけばかなり他の理事の方々にはご迷惑などの負担をおかけしたことも事実です。萩原会長のもと、理事長をはじめ、業務執行理事の方々の仕事ぶりは目を見張るものがありました。長野陸上競技協会のいわば心柱の役割を果たしながら、「やまなみ国体」を控えその主会場となる新たな陸上競技場の竣工を目指し緻密に議論を重ねられてきました。頭の下がる思いです。

陸上競技は三つのフレンドリーを基本にしているとしています。選手・審判・観客が三位一体となって競技会が開催されます。本協会もまさにフレンドリーな団体であると感じています。

理事会等様々な会議においても率直な意見が交わされ、各事業に反映されている様子から、組織改編された今後も益々発展されることと思います。

大変お世話になりました、有難うございました。

退任のご挨拶 副会長 北島 正孝

副会長2年間、駅伝部長12年間にわたり、お世話になりました。副会長の重責を全く理解できていない私が急遽就任となり、多くの皆様に支えていただき、また、ご指導を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて刻々と近づく国民スポーツ大会2028（競技場実施設計段階から要望事項をふまえて陸協からは内山理事長中心に参画）現在中長期計画から中短期計画の時期を迎えております。陸協会員全員（負担も多くの方で分担）で、そして良き思い出として残る大会にと願っております。

少し駅伝にも触れさせて下さい。普及強化委員会駅伝部の派遣試合は、東日本女子駅伝・山陽女子ロード・全国都道府県対抗男女駅伝大会です。多くの競技者・指導者・陸協の先生方・ご支援いただきました皆様にお礼申し上げます。

これらをとおして成長していく中学生・高校生と接する楽しみの連続でした。幼さが残る中学1年生は、合宿等で先輩を見て学び、上級生は高校生を見て学んでおります。監督・コーチの指導大ですが…。

夢の実現には、人間としても成長をと、力を込めた時もありました。何も出来なかった駅伝部長でしたが、駅伝部の監督・コーチ・スタッフ・トレーナーの皆さんに支えられ、クラブ・中学校・高校の指導者・陸協の皆さんのおかげで、全国で注目される存在になりつつあります。

最後に長野陸協会員の皆様のご健康とご活躍、そして長野陸協の益々のご発展をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

【今回の外部情報は「長野車いすマラソンクラブ」代表中田真也さんにご寄稿いただきました。】

パラスポーツ紹介



迫力のスピード感
競技用車いす「レーサー」
車いすマラソンの魅力とは

製作：
長野車いすマラソンクラブ
代表 中田真也

21 歳の時にバイク事故で車いす生活に。その後、毎年 4 月に行われている長野車いすマラソン大会に第 1～19 回まで連続出場。第 14 回大会では 5 位入賞。車いすマラソンの体験、興味のある方はこちら↓まで
・お問合せ E-mail
sn713@icloud.com

車いすマラソン

公道コース等を使用して行う車いす陸上競技の 1 つ車いすマラソンは、3 輪タイプの競技用車いす (レーサー) に乗り換え、腕の力だけでフルマラソン 42.195km を走ります。競技として、1984 年の夏季パラリンピックの正式種目に加えられました。1980 年代の大会は障がい者の社会参加という福祉的な意味合いが大きかったですが、今では国内各地で車いすマラソン大会が開催され、パラリンピックの正式種目にも加えられるなど、競技性が高まり、年齢や障がいの重度にかかわらず、様々な人が同じ空気を感じて走ることのできる競技となった。近年では、健常者の方も競技用車いす乗り、参加できる大会も多い。

競技用車いす【レーサー】

車いすマラソンを行う際に乗り換える競技用車いすレーサーは、座る、もしくは正座するような姿勢で乗り込み、車いすというよりは、ロードバイクの輪版という感じです。レーサーは全長 1m70cm - 1m85cm 程度で、あの長さの理由は、長ければ長いほど直進安定性が高くなり、スピードも落ちにくく、思い切って漕ぐことができる。重量は 8kg - 10kg と、片手でも持ち上げれるほど軽い。

ハンドル・ブレーキ

進行方向をコントロールする
ハンドルと減速用のブレーキ



後輪・ハンドリム

八の字に取り付けられた 2 つの後輪と
手で車輪を操作するためのハンドリム

重要アイテムの専用グローブ

車輪を回すためにハンドリムを握って漕ぎますが、あまりにタイヤが早く回るので、素手で漕ぐと、摩擦で擦り傷や火傷の怪我をしてしまいます。

そのため専用のグローブを使い、握って漕ぐというより、叩いて漕ぐ感じです。



フルマラソン (42.195km) 世界記録の平均速度

車いす
マラソン



32.3km

1 時間 18 分 37 秒

マラソン



20.9km

2 時間 1 分 9 秒

徒歩

5km 参考 8 時間 44 分

(2023.6.1 現在)

車いすマラソンの世界記録は、1 時間 18 分 37 秒で、平均時速は 32.3km になります。健常者のマラソンは世界記録 2 時間 1 分 9 秒で平均時速は、20.9km なので、健常者より 1.5 倍速いスピードで走りことになり、下り坂では、60km を超えます。

第25回長野マラソン開催の舞台裏 長野マラソン事務局(陸協担当)大澤 幸造



第25回長野マラソン、第19回長野車いすマラソンが長野陸協審判員の皆様はじめ、各方面より多数の皆様のご支援をいただきながら、大きな事故無く終了しましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、昨年より前任の伊藤利博先生の後を受けて長野マラソン事務局に入っておりますが、先生が過去に築かれたものは膨大であり、特に人と人との繋がりを大切にされ、大会までの準備を一つひとつ丁寧に重ねられていた姿を遠目から拝見しておりました。果たして自分に先生の代役が務まるか不安を抱える中で第25回大会の準備が始まりました。以下は、第25回大会を開催するにあたり、その準備がどの様に行われてきたか、その一端をご紹介します。

長野マラソンを支える組織は、大会の主催となる日本オリンピック委員会、日本陸連、長野県、長野市、信濃毎日新聞社、共催のNHK、大会を主管する長野陸協の代表者等で構成される大会組織委員会があり、庶務は事務局が担当します。また、実際の大会運営については、これに関わる組織から選出された委員から成る大会実行委員会があり、長野陸協からは理事長を筆頭に副理事長、理事などの役員と陸協の支援団体(支部)の役員が加わります。

大会前年の7月に大会組織委員会が開催され、これが次回大会のスタートとなります。第25回長野マラソンの大会組織委員会は7月27日に開催され、大会の開催日、コースなどの概要が承認されましたが、8月末に外務省より軽井沢でのG7外相会合の開催発表があり、長野マラソンの開催予定日と重なったことから、大会組織委員会の決定事項の見直しになったことは皆さんご承知のとおりです。最終的には開催期日を当初の予定から1週間繰り下げ、4月23日とすることで準備することになりました。

大会運営の企画および調整は大会組織委員会事務局(以下、事務局)が担当し、週1回開催する事務局会議で各事案について検討します。更に細部の実施内容については、隔週で開催する実務者会議で事務局の方針を確認し、各担当業務に反映します。

事務局では、第25回大会の開催日変更を受けて、直ちに長野マラソンで使用する各施設や道路使用の調整に入りましたが、Mウェーブ並びに敷地内道路の使用が困難となったため、Mウェーブ周回コース

に代わる新たなコース設定が必要となりました。コース案は全部で9案が考えられ、その都度現地確認を行いながら実施の可能性について検討しましたが、交通規制の範囲が拡大するものについては実現が難しく、また車いすマラソンのコースも

兼ねることから、最終的にMウェーブの周回距離を堤防道路と大豆島東工業団地内の道路で補うコース案に決定しました。コースの一部変更ではあるものの、陸連公認とするためコース検定は10~25km間の計測を行う必要から、綿密な実施計画作成と現地調査が必要となります。また、コース変更によって新たに生じた諸課題についても、事務局会議、実務者会議で細部まで検討しなければなりません。これらと平行して、陸協に関わる事項についても、長野マラソン競技運営委員会で話し合ってきました。

コース検定は期日に選択余地がなく、ピンポイントで3月5日の早朝に行われました。実施に際しては天候への不安があり、薄氷を踏む思いで当日を迎えたことを思い出します。幸いにも当日は天候が崩れることなく無事検定が終了して新コースが確定したことから、これに合わせて各部署の実施計画を確認し、修正が必要なものについては調整しました。

第24回大会での陸協の反省や要望等を基に、競技運営マニュアル、審判配置、ランナーサポート体制、補助員配置等の見直しを行いました。大会開催までの限られた時間の中で、山積する課題に対して具体策の検討が不十分な箇所が多々あり、これに関わる審判の皆様への連絡についても徹底できなく、一部に混乱が生じたことをお詫びいたします。

長野マラソンのコースは、春の息吹に包まれたすがすがしい自然の中で、大勢の沿道市民から心温かな声援を受けながら自己の限界に挑戦

できる環境にあることから、国内ではランナーの評価が最も高いマラソンのひとつとして位置づけられています。第26回大会においても、参加ランナーはもちろん、長野マラソンをご支援いただいている皆様にも納得いただける内容となるよう、第25回大会の経験を生かして準備して参りますので、長野陸協の皆様には引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(写真:長野マラソン事務局提供)



男子優勝 西選手(大阪ガス)



中央通り:石畳を疾走するトップ集団

松本平広域公園補助陸上競技場・改修工事進捗状況

I 補助競技場について 2023 年 5 月 3 日から 公認競技会スタート 常務理事 田澤 稔

昨年度 6 月 25 日 26 日に開催された松本平閉場記念長野県選手権を最後に 2028 年国スポ開催のための松本平メイン競技場の施設用器具移動と解体工事、補助競技場運営のための改装工事を同時に実施される予定でした。4 か月後には、補助競技場において塩尻市民祭、松本市民祭の陸上競技大会開催が期待されましたが、当時の社会情勢や諸事情により工事入札の遅れなどから工事着工のめどが立たず、補助競技場で開催予定だった 10 月中の大会は、想定外のメイン競技場で開催することとなりました。

11 月以降に解体に向けた工事が開始され、サーフェスの除去や施設用器具の移動終了に伴い、下の写真のような状況で解体工事が進んでいます。



7 月 5 日現在のメイン競技場解体の様子

心配されていた仮設用器具庫、写真判定棟の設置が 3 月末に完成。用器具の移動、写真判定棟への機材運搬が 4 月末に終了し、ようやく競技運営が開催されたのが 5 月 3 日からの中信地区選手権大会からでした。県大会レベルの競技会は、長野市、伊那市、佐久市、飯田市に分散して開催しています。よって、補助競技場での大会運営は、中信地区の地区大会を主に競技運営が行われています。

7 月になりようやく競技運営など見通しをもって取り組むことができますが、5 月からの大会運営スタート時には、さまざまな課題がありました。

施設面においては、写真判定棟 2 階から 100m スタート地点が見えないというアナウンサー泣かせの状況でした。写真判定棟 2 階からは、フィニッシュ地点を見るためのものだったので、アナウンサーの目線は考慮されていませんでした。棟の設置場所、スペースなどから現時点よりも少しスタート地点が見えるような角度に設計できたかもしれません。その分、室内のスペースがなくなると考えると現状かな



3 月に完成した写真判定棟：トラックスタート側から撮影

と感じます。記録情報担当の青山功一さんが私用のビデオカメラを 2 階入り口に設置して使用できるモニターをアナウンサー席前に設置してなんとか確認が取れる状況です。それ以外にも、もっとこうしてほしい課題要望が山積でした。例えば、窓に庇がないため、雨天時には、窓を開けられない。窓位置が高いため座って見られない。1 階も同様でした。それ以外にもプリンターの不調、サブカメラの故障などなどいろいろです。これらは、すべて指定管理者 TOYBOX さんに直接見ていただき、早々の対応をしていただいています。



写真判定棟 2 階の様子

施設用器具関係では、メイン競技場から移動して仮設用器具庫でも、以前使用していた用器具がない、見つからない等、5 月当初は混乱しました。さらに、使用前に仮設用器具庫の側面シャッターが、空港沿いの強風により一部破損してしまい、倉庫内の貴重な備品については、余儀なく移動せざる状況でした。6 月末には、復旧しています。管理者側から、使用後のシャッター支柱ストッパーの確認徹底などの注意もいただいていますので、ご協力をお願いします。

競技場内は、第 3 種公認競技場として、環境は整っていますが、ホームストレートの走幅跳ピットは風

向きによっては、写真判定棟に向かって試技を行うことになり、棟にぶつからないように走高跳マットで衝突防止策を講じるなどの対応を行っています。

競技運営で何よりも頭を悩ませたのが、競技者と観客とのゾーニングでした。ご承知の通り補助競技場は、観客席はありません。よって、観客動員の想定はなく、コロナ感染予防の頃には、観客なしなどの規制はできましたが、その後は、大会毎に、選手との境界を虎の子ロープで仕切ったり、選手関係者には、テント設置などを許可したり、近くの子ども公園を専用使用にしてアップ場にしたりしていろいろと競技運営の工夫を行いました。良かった点は、観客から陸上競技がすぐ目の前でされているので、競技が身近になり、その醍醐味を体感できる良さがあります。観客動員に関わっては、大きなトラブル、クレームは今のところありません。



完成した仮設用器具庫内の様子

今後の課題であり、心配な点は、雨天時での競技運営です。幸いにも、7月までの大会運営は、天候にも助けられています。雨天時や強風での開催は、多くの課題があります。

まずは、選手の居場所が確保できません。現在では、招集所を仮設用器具施設内に設営し、必要に応じてテント設営で日差しや雨風に対応しています。強風強雨になればそれを凌ぐ場所也没有。審判員も同様です。審判員控室を競技場ホーム中央にある倉庫を活用していますが、新競技場と同時に設計される雨天練習場設置のため取り壊しが決まっています。あとは、補助競技場内奥にあるD倉庫内を活用することを考えています。

最後になりますが、今回の補助競技場の改装工事に関わって、萩原会長はじめ、長野県建設部施設課様、松本建設事務所維持管理課様、指定管理担当のTOYBOX様、他工事関係者の皆様のご尽力により、大会が開催できましたことに改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今後どうぞ、よろしくお願いいたします。



写真上：中信中学4×100mスタート、下：中信高校走幅跳

II メイン競技場について 会長代行 内山 了治

松本平広域公園陸上競技場は、田澤常務理事・施設用器具委員長の報告にあるように、解体工事が進んでいます。同時に、新競技場建設に向かい、施工業者等の選定に入っています。

去る6月22日、17時～19時45分という遅い時間帯でしたが、安曇野市豊科公民館にて県建設部施設課、都市・まちづくり課、松本建設事務所から合計6名の方にご足労を賜り、本協会会長を始めプロジェクトメンバーが3月3日に提出した質問・要望についてご回答をいただき、今後の予定も示されました。(本協会出席者：内山会長代行、百瀬・田澤・青柳常務理事、三代澤芳男プロジェクトメンバー)

また、2026(R8)年4月共用開始予定ですが、工事契約が順調に進まない場合も予想され、伸びる可能性もあるそうです。関係資料もいただきましたが、図面だけでも600ページ以上あり、ここまでのご関係の皆様方の「仕事」とはいえ、詳細な作業に加え莫大な作業量の処理に敬意を表します。これまでにない素晴らしい競技場の完成を心待ちにしております。

次の予定で進むそうです。詳細は長野県建設部施設課等のwebをご参照下さい。

5/25 公告 建築工事：入札締切 R5/7/5

6/15 公告 衛生設備工事：入札締切 R5/7/5

6/16 公告 電力/弱電設備工事：入札締切 R5/7/5

8月頃公告 空調工事

入札予定検索⇒上記公告日で検索＝内容の表示

<https://www.ppi.e-nagano.lg.jp/ebidPPIPublish/EjPPIj>

動画⇒これまでの流れ他

<https://www.youtube.com/channel/UCEnskGvSEJOPFIWdAjYeEbA>

2022年度 公益財団法人日本陸上競技連盟 栄章伝達式

2022 年度の日本陸上競技連盟栄章「中学優秀指導者章」、「高校優秀指導者章」の伝達式は、昨年度から国体開催時ではなく、各都道府県陸協が行うようになりました。そこで、中学・高校優秀競技者章の伝達と合わせ、7 月 9 日（第 76 回長野県選手権大会 2 日目）に行いました。受章者並びに受章理由は以下のとおりです。おめでとうございます。

ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

「中学優秀指導者章」 中島 紀子先生

現職：松本市立信明中学校 教頭

日本スポーツ協会・日本陸上競技連盟公認コーチ：陸上競技コーチ 3（取得年）2020 年

長野陸協指導者功績章 令和元年度受章

本協会への貢献：理事（中体連担当）2021/6～2023/6
普及強化委員会ジュニア部・駅伝部コーチ 16 年間
受章理由：勤務校の部活動のほか、本協会ジュニア部コーチとしても中学生を指導し、全日本中学、ジュニアオリンピック、全国中学駅伝等の出場競技者の指導に携わってきた。次の競技者の他、全国大会出場競技者を数多く育成している。

安坂 丈瑠 松本市立開成中学校 2019 年全国通信陸上 男子 400m 第 3 位

三澤 百佳 松本市立開成中学校 2019 年日本中学ランキング 女子 400m 第 1 位

「高校優秀指導者章」 高見澤 勝先生

現職：佐久長聖高等学校教員

日本スポーツ協会・日本陸上競技連盟公認コーチ：陸上競技コーチ 3（取得年）2022 年

長野陸協指導者功績章 令和元年度受章

本協会への貢献：平成 23 年から強化部・駅伝部コーチ、平成 25 年から全国都道府県対抗男子駅伝監督など。
受章理由：平成 20 年から佐久長聖高校駅伝部のコーチとして活動し、平成 23 年 3 月から同監督となり、全国高校駅伝で優勝 1 回・準優勝 3 回を含む 10 回の入賞を果たしている。全国高校総体でも 7 名の入賞者を育成し、全国都道府県対抗男子駅伝では 4 回の優勝に導くなど成果を高めている。主な育成競技者は次のとおり

吉岡 大翔 佐久長聖高校 U20 世界選手権（2022）

5000m 7 位、2022 年国体少年男子 A5000m 優勝他

中谷 雄飛 佐久長聖高校 2017 年国体少年男子 A5000m 2 位他

なお、高見澤先生は、県外他大会引率指導のため本日は欠席となりました。



左から 倉田さん、中島さん、寺平さん

「中学優秀競技者章」 寺平 祈愛さん

2022 年度在籍校 木祖中学校

現在の所属 佐久長聖高校

2022 年競技実績：全日本中学（福島県） 女子 100m
優勝 11.89(+1.0) 県中学新

国体 少年女子 B 100m 2 位 11.95(+1.0) 栃木

WA(IAAF) Scoring Tables 1032 点

PB 100m 11.80(+1.1) 北信越中学（長野市営）

2022/08/03 全国中学 2022 ランキング 1 位

受章理由：全日本中学女子 100m で優勝 11.89(+1.0)、栃木国体少年女子 B では 100m で高校生と互角に競い堂々 2 位 11.95(+1.0) 入賞を果たすなど、シーズンを通して活躍した。

「高校優秀競技者章」 倉田 紗優加さん

2022 年度在籍校 伊那北高校

現在の所属 慶應義塾大学

2022 年競技実績：全国高校 女子やり投 優勝 53m82

国体 女子少年 A やり投 3 位 49m36

WA(IAAF) Scoring Tables 992 点

PB 全国高校 2022 ランキング 1 位 55.33

受章理由：全国高校総体女子やり投で優勝（53m82）、栃木国体女子少年 A やり投で 3 位（49m36）入賞を果たした他、北信越高校大会（石川県、6/18）において、同種目で 55m33 の北信越高校、長野県高校生新記録を樹立するなど活躍した。

第 6 回登録団体訪問 富士見町スポーツ協会陸上競技部

2022 年度 文部科学大臣生涯スポーツ優良団体表彰を受賞された「富士見町スポーツ協会陸上競技部」にこれまでの活動についてご寄稿いただきました。

昭和 30 年、4 ヶ村が合併し、富士見町が誕生したのを機に富士見町体育協会が発足。その専門部として陸上競技部がその構成員として生まれました。

昭和 34 年に第 1 回富士見町陸上競技記録会を開始、現在も富士見町陸上競技選手権大会として継続されている。

昭和 28 年に開始された富士見町名勝探訪駅伝もコースや開催場所を変えながらも、現在も継続して開催されている。当初は山梨県など隣県からの参加者もあり、現在では姉妹都市の西伊豆町からの参加を得て、町民交流の場ともなっている。また、この大会を通じて駅伝の熱も高く、県縦断駅伝にも部員の多くが選手として出場し活躍した。

昭和 53 年のやまびこ国体開催に向けた時期が最も活動が活発で、国体には 12 名が審判として参加した。

勤労青少年ロードレース大会として始まった大会も現在、富士見高原八ヶ岳クロスカンントリー大会として形を変え運営に参加しています。

その後も、体育協会の中で最も部員数が多く、協会活動の中心となって活動している。

一方、地域の子供たちの陸上競技の普及にも力を入れ、市町村対抗駅伝の参加を機に、毎週末小中学生の長距離練習会を開催。その中から名取燎太(佐久長聖高→東海大→コニカミノルタ)はじめ、陸上界で活躍する選手も輩出してきた。この活動は現在富士見クラブと称し陸上部の援助で活動が続けている。

今回の受賞もそうした地道な活動が評価されたものと感じ、また取り巻く多くの皆様のご理解、ご協力のおかげと感謝しています。



富士見高原名勝探訪駅伝競走大会 (昭和63年)

(文責：NPO 法人富士見町スポーツ協会・葛城光一)

第 72 回長野県縦断駅伝競走大会について

理事・道路競技部長 掛川 和彦

県縦断駅伝は、昨年からの一日開催に伴い、今年は松本から飯田の実施予定で調整してきました。二日間開催年の二日目は 10 区間 98.5 km でした。昨年度の長野～岡谷は 16 区間 117.35km、約 20 km の距離と区間数を昨年とある程度等しくするための新コースの検討を行ってきました。

いくつかの案のうち、主に松本市北部外周で距離を延ばす変更コース案を県警交通規制課に提示しました。同課が実際に試走し、コース沿線所轄署の意見も集約した結果、6 月につぎのような指摘がありました。変更案は松本市街地の交通への負荷が非常に大きく、松本マラソンと 2 週続けて市街地を交通規制することに一般市民から理解を得にくい。以上の経過から提示案での実施は不可能であると判断し、現在は今までと同じコースで実施し、区割りを見直し 12～13 区間(中学男子を 1 区間増やす)で中継所の確保など調査・選定中です。

また、飯田市内 153 号線座光寺周辺はリニア中央新幹線工事のため、北条信号から飯田市内へ入る県

道市場桜町線は路面状況が悪く走行はかなり厳しい見込みで、11 月の工事進捗状況が今の段階でははっきりしないことから 153 号線を高森町の出砂原(ださら)信号で右折し、高森町役場前を通過して「石原田橋」を左折、「フルーツライン(広域農道)」を通過して飯田市内へ向かうルートに変更を検討しています。今後は、飯田市内の調整と区間割原案が固まり次第、信濃毎日新聞社様並びに本協会理事会で協議し、その後、チーム各エリア代表者とのオンライン会議等で原案(新区間割等)を提示しご意見や要望をいただき、可能な部分は修正し、8 月中には主催者・チーム代表者会議を行う予定で調整しております。

各チームの皆様には、選手選考等大変ご心配とご迷惑をおかけしており恐縮ですが、コース選定と中継所確保は容易ではありません。詳細が確定するまで、もう暫くお待ちいただきますようお願い申し上げます。

何れにしても、歴史ある県縦断駅伝です。地域の皆様の協力と声援を得て、選手達の糧と県縦断駅伝がつながるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

2023 年 北海道インターハイに向けて & 北信越高校結果

長野県高体連 陸上専門部委員長 内堀 俊彦

2023年全国高校総体陸上競技大会は北海道札幌市厚別陸上競技場で8月2日(水)～6日(日)の日程で、開催されます。本年度長野県からは、北信越総体を勝ち抜いた、男子16校・37名 女子9校・25名総勢62名の選手が出場します。

本年度、3000mSC日本高校新記録を樹立した永原颯磨君(佐久長聖)、昨年度全国総体入賞者の岡田莉歩さん(佐久長聖)、名和夏乃子さん(長野東)を中心に、昨年度全国大会経験者・本年度ランキング上位者など、活躍が期待されます。参加者全員が、最高のパフォーマンスができるよう、応援よろしくお祈いします。

全国高校総体学校別出場者一覧

北信越高校(6/15～6/18 富山県総合運動公園)の結果

女子:学校名	監督	競技者名	学年	種目	順位	記録
梓川	菅原 太地	荒木 ななせ	3	ハンマー投	2	45.41
市立長野	中島 良太	宮澤 けい	3	100m	2	12.00(+2.5)
〃	〃	宮澤 けい	3	200m	4	24.71(+1.5)
伊那北	遠藤 颯	逸見 加奈子	3	400mH	4	1:02.08
佐久長聖	早川 恭平	岡田 莉歩	3	棒高跳	1	3.90HKR, GR
〃	〃	小林 ひより	2	棒高跳	4	3.30
〃	〃	星野 紗菜	1	走高跳	5	1.55
〃	〃	佐伯 風帆	3	100mH	2	14.21(+0.5)
〃	〃	佐伯 風帆	3	400mH	5	1:02.14
〃	〃	寺平 祈愛	1	200m	3	24.71(+1.5)
〃	〃	大森 玲花	1	七種競技	1	4586点
〃	〃	岡田 莉歩	3	4×100m		①走
〃	〃	佐伯 風帆	3			②走
〃	〃	寺平 祈愛	1			④走
〃	〃	並木 彩華	1		4	47.44
〃	〃	橋本 春花	3			③走
〃	〃	唐澤 さくら	3			
〃	〃	岡田 莉歩	3	4×400m		③走
〃	〃	佐伯 風帆	3			④走
〃	〃	寺平 祈愛	1			②走
〃	〃	吉田 彩葉	2			①走
〃	〃	桑原 実世	3		4	3:52.02
〃	〃	村山 羽乃	2			
〃	〃	神津 沙夏	2			
長野日大	小川 裕樹	金子 亜瑠	2	三段跳	2	11.70(+3.1)
長野東	横打 史雄	松林 彩	3	砲丸投	5	11.45
〃	〃	窪田 舞	2	1500m	3	4:26.55
〃	〃	窪田 舞	2	3000m	4	9:31.10
〃	〃	真柴 愛里	1	1500m	6	4:32.44
〃	〃	名和 夏乃子	3	3000m	3	9:30.66
野沢北	箕輪 健二	後小路 葉月	2	5000mW	1	25:02.36
〃	〃	関口 蒔琉	3	三段跳	3	11.67(+2.4)
穂高商	藤原 牧人	藤原 琴乃	3	ハンマー投	4	39.91
松本国際	下里 直哉	北沢 真輝	1	円盤投	6	33.13

男子総合 1位 開志国際・新潟 90点、
2位 佐久長聖 85点、
6位 飯山 19点、7位 市立長野 19点
女子総合 1位 星稜・石川 61.5点、
4位 佐久長聖 59.5点

男子:学校名	監督	競技者名	学年	種目	順位	記録
飯山	石川 和義	荒井 陽呂実	3	走幅跳	1	7.17(+0.9)
〃	〃	〃		三段跳	6	13.93(+1.4)
〃	〃	佐藤 駿也	3	走幅跳	3	7.01(+1.1)
市立長野	中島 良太	勝山 大珠	3	800m	5	1:55.08
〃	〃	〃		1500m	6	3:56.69
〃	〃	徳嵩 力也	3	400mH	2	52.82
〃	〃	山本 陵弥	3	5000mW	4	22:39.37
上田西	帯刀 秀幸	梅原 悠良	3	800m	3	1:54.74
〃	〃	〃		1500m	4	3:54.53
上伊那農	金森 佑奈	小澤 優翔	3	1500m	5	3:55.49
佐久平総合	細田 健司	金森 柊弥	3	3000mSC	6	9:14.94
佐久長聖	高見澤 勝	濱口 大和	2	1500m	1	3:50.59
〃	〃	〃		5000m	1	14:02.31
〃	〃	松山 優太	2	800m	2	1:54.52
〃	〃	〃		1500m	3	3:54.12
〃	〃	山口 竣平	3	5000m	2	14:06.67
〃	〃	篠 和真	2	5000m	5	14:34.97
〃	〃	永原 颯磨	3	3000mSC	1	8:42.58GR
〃	〃	〃		予選		8:36.06NR
〃	〃	遠藤 大成	3	3000mSC	2	8:55.10GR
〃	〃	佐々木 哲	2	3000mSC	3	9:01.90
佐久長聖	早川 恭平	降幡 諒成	3	400mH	3	53.27
〃	〃	〃		八種競技	1	5532点
〃	〃	〃				④走
〃	〃	西尾 誓	1	4×400m		
〃	〃	今関 隼也	3			①走
〃	〃	東村 寛介	2		6	3:17.08
〃	〃	山本 祐弥	2			②走
〃	〃	前嶋 大希	3			③走
〃	〃	相場 遥心	1			
東海大諏訪	新村 守	小口 蒼葉	2	110mH	2	14.59(-0.8)
〃	〃	鈴木 慎吾	3	200m	4	21.49(+0.5)
長野工	宮尾 淳矢	刈間 拓己	3	ハンマー投	6	46.97
長野俊英	小長谷祥治	柿澤 一護	2	走幅跳	6	6.92(+0.9)
長野吉田	林 智彦	深澤 恒頼	3	砲丸投	1	15.16
穂高商	藤原 牧人	岡村 聡真	2	ハンマー投	1	52.74
〃	〃	渡邊 玄埜	3	ハンマー投	3	51.25
松商学園	藤井 一茂	柳澤 秀哉	3	走幅跳	5	6.92(+1.8)
〃	〃	山田 瑛太	3	400m	6	49.30
松本県ヶ丘	佐藤 賢一	高田 真平	3	三段跳	5	14.15(+2.1)
松本国際	下里 直哉	中村 駿汰	2	110mH	6	15.00(-0.8)
〃	〃	筒木 順	3	三段跳	2	14.30(+1.9)
〃	〃	井澤 真成	2	円盤投	2	41.46
松本美須々丘	両角 純平	西澤 諒	2	100m	5	10.59(+2.9)
丸子修学館	掛川 和彦	小島 颯翔	3	5000mW	2	22:23.06

第32回長野県市町村対抗駅伝 第18回市町村対抗小学生駅伝結果



46チームが出場
巡回コースに変更
2023/4/29
松本市

駒ヶ根市が2年ぶりの優勝

【総合成績】

順位	チーム名	通算記録
1	駒ヶ根市	2:11:44
2	長野市	2:14:08
3	松本市	2:14:27
4	箕輪町	2:15:01
5	須坂市	2:17:12
6	安曇野市	2:17:24
7	飯田市	2:17:24
8	上田市	2:18:14

【町の部】

順位	チーム名	通算記録
1	箕輪町	2:15:01
2	下諏訪町	2:24:12
3	高森町	2:24:15
4	山ノ内町	2:30:15
5	辰野町	2:30:42
6	飯綱町	2:35:25

【村の部】

順位	チーム名	通算記録
1	山形村	2:23:09
2	木島平村	2:26:16
3	宮田村	2:29:09
4	下條村・売木村	2:30:31
5	南箕輪村	2:30:50
6	豊丘村	2:32:40

【最優秀選手賞】

選手名	チーム名
白川 大地	駒ヶ根市

【最優秀新人選手賞】

選手名	チーム名
滝澤 秀斗	駒ヶ根市
川上 南海	駒ヶ根市



【区間賞】

区間	No.	選手名	チーム名	記録	距離km	区間	No.	選手名	チーム名	記録	距離km
1	10	川上 南海	駒ヶ根市	9:06	2.7	6	9	田畑 陽菜	伊那市	15:11	4.4
2	10	滝澤 秀斗	駒ヶ根市	8:02	2.6	7	19	野島 将夫	安曇野市	8:10	2.6
3	14	牛山 純一	茅野市	15:57	5.3	8	10	宮下 晴貴	駒ヶ根市	19:49	6.5
4	38	桃澤 大祐	中川村	19:36	6.5	9	10	白川 大地	駒ヶ根市	15:55	5.3
5	2	金澤 拓則	松本市	16:28	5.3						



小学生駅伝(1.2km×4名)
長野市が6大会ぶり優勝



【総合成績】

順位	チーム名	通算記録
1	長野市	16:10
2	佐久市	16:25
3	千曲市	16:28
4	上田市	16:33
5	安曇野市	16:39
6	飯山市	16:47
7	須坂市	16:47
8	富士見町	16:52

【町の部】

順位	チーム名	通算記録
1	富士見町	16:52
2	飯綱町	17:03
3	下諏訪町	17:36

【村の部】

順位	チーム名	通算記録
1	宮田村	17:03
2	原村	17:19
3	阿智村	17:30



2023 年(2/27~6/25) 主要大会結果一覧 (まとめ 記録部長 瀧沢 佳生)

KR:県新記録、HR:県高校生新、JR:県中学生新、ER:県小学生新、CR・GR:大会新、風速の追風(+)は省略

2023日本学生陸上競技個人選手権大会

4月21日~23日 神奈川・レノガ・AST平塚

▶男子5000m

③伊藤 大志(早大3) 14:03.41

▶男子10000m

⑧清水 海地(明大4) 42:19.71

▶女子800m

⑤小林 舞香(環太平洋大3) 2:09.42

▶女子10000m

⑦中村 綾花(日体大2) 49:20.14

▶女子やり投(600g)

⑦倉田 紗優加(慶大1) 51.03

第57回織田幹雄記念国際陸上競技大会

4月29日 広島・広島広域公園

▶GP男子5000m

⑦吉岡 大翔(順大1) 13:39.84

第10回木南道孝記念陸上競技大会

5月6日~7日 大阪・ヤマスタジアム長居

▶GP男子十種競技

④穂苅 康人(東学大院1) 6978

▶GP女子400mH(0.762m)

③南澤 明音(松本土建) 58.38

セコ-ゴ-ルデ-ンGP陸上2023横浜

5月21日 神奈川・日産スタジアム

▶GGP女子100m

⑤君嶋 愛梨沙(土木管理総合)
11.60(-0.4)

第107回日本陸上競技選手権大会

第39回U20日本陸上競技選手権大会

6月1日~4日 大阪・ヤマスタジアム長居

▶男子走幅跳

⑦松岡 晃輝(長野市陸協) 7.61(0.1)

▶女子100m

①君嶋 愛梨沙(土木管理総合)
11.59(-0.1)

▶女子200m

①君嶋 愛梨沙(土木管理総合)
23.17(0.0) KR

▶女子400mH(0.762m)

⑦南澤 明音(松本土建) 58.97
※予選 58.14 KR

▶女子やり投(600g)

⑦倉田 紗優加(慶大1) 55.05

▶U20男子100m

①福澤 耀明(東海大1) 10.42(0.4)

▶U20男子1500m

⑧梅原 悠良(上田西高3) 3:49.47

▶U20女子棒高跳

⑧岡田 莉歩(佐久長聖高3) 4.00 HR

第39回U20日本陸上競技選手権大会・混

成競技 6月10日~11日 秋田・秋田県営

▶男子十種競技(U20)

②梶川 新(中京大1) 6743 KR

布勢スプリント2023

6月25日 鳥取・布勢総合運動公園

▶GP女子100m

②君嶋 愛梨沙(土木管理総合)
11.37(1.6)

第 63 回長野県陸上競技春季大会

4月15日(土)~16日(日) 長野市営

【男子】

▶100m (+0.6)

①小根山 慶汰(新潟医福大3) 10.74

②中島 大智(城西大4) 10.75

③鈴木 慎吾(東海大諏訪高3) 10.91

▶200m (-3.3)

①鈴木 慎吾(東海大諏訪高3) 22.30

②中村 颯人(LIFEMESSAGE) 22.33

③高橋 和真(LIFEMESSAGE) 22.74

▶400m

①高橋 一輝(LIFEMESSAGE) 49.73

②山田 瑛太(松商学園高3) 50.33

③山口 智也(東海大諏訪高2) 50.83

▶800m

①高橋 一輝(LIFEMESSAGE) 1:54.04

②尾崎 康佑(信州大3) 1:59.29

③濱野 大輝(松商学園高2) 1:59.74

▶1500m

①濱口 大和(佐久長聖高2)
3:51.64(GR)

②山口 竣平(佐久長聖高3) 3:55.75

③篠 和真(佐久長聖高2) 3:56.95

▶5000m

①永原 颯磨(佐久長聖高3) 14:41.81

②遠藤 大成(佐久長聖高3) 14:54.26

③松林 直亮(信州大4) 14:56.35

▶110mH(1.067m) (+3.2)

①吉村 健吾(ChinoAs) 14.65

②倉田 歩夢(城西大4) 15.21

③森 遼己(城西大2) 15.24

▶400mH(0.914m)

①小林 航(LIFEMESSAGE) 54.28

②石川 泰地(埼玉大4) 54.57

③降幡 諒成(佐久長聖高3) 54.60

▶3000mSC(0.914m)

①永原 颯磨(佐久長聖高3)

8:50.62(KR GR)

②遠藤 大成(佐久長聖高3) 9:22.90

③佐々木 哲(佐久長聖高2) 9:38.55

▶5000m競歩

①柳澤 優斗(ト-ハツ) 21:19.51

②小島 颯翔(丸子修学館高3) 23:07.94

③平澤 航大(松川高3) 23:21.46

▶4×100m

①松本大 42.49

②東海大諏訪高 42.91

③信州大 43.27

▶4×400m

①LIFEMESSAGE 3:17.32

②東海大諏訪高 3:22.95

③佐久長聖高 3:24.21

▶走高跳

①芋川 駿(NAGANOAPPLES) 2.00

②中村 伊吹(松本大1) 1.90

③片平 大地(NAGANOAPPLES) 1.90

③関本 遊大(松本大2) 1.90

▶棒高跳

①大西 祐基(信州大M) 4.40

②石坂 翼海(松本大4) 4.40

③五味 駿太(諏訪清陵高2) 3.90

▶走幅跳

①鈴木 瑛翔(赤穂高2) 6.89(+1.4)

②上條 将吾(セコ-エフソ) 6.87(+1.5)

③樽沢 佑弥(タ-ミガ-ンズ) 6.75(+3.6)

▶三段跳

①石川 和義(い-やま) 15.54(+5.2)

②櫻井 大幹(軽井沢A&AC) 14.49(+4.7)

③筒木 順(松本国際高3) 14.23(+4.0)

▶砲丸投(7.260kg)

①米倉 朋輝(協栄電気興業) 16.39(GR)

②木藤 海琉(長野高専4) 11.61

③有村 凌空(木曽郡陸協) 11.31

▶円盤投(2.000kg)

①米倉 朋輝(協栄電気興業) 43.41

②岡村 樹優 (安曇野AC)	36.99
③上原 隆伸 (ターミナル)	33.47
▶ハンマー投(7.260kg)	
①萩原 倅司 (松本土建)	54.83
②神田 雅翔 (松本大3)	50.57
③青柳 修斗 (松本大1)	47.77
▶やり投(800g)	
①梨子田 峻 (新潟医福大3)	55.87
②柴垣 颯大 (信州大2)	53.59
③林 智輝 (松本県ヶ丘高3)	51.61
【男子高校】	
▶砲丸投(6.000kg)	
①深澤 恒頼 (長野吉田高3)	13.94
②小山 翔平 (佐久長聖高3)	12.84
③宇原 琥響 (松本蟻ヶ崎高3)	11.66
▶円盤投(1.750kg)	
①井澤 眞成 (松本国際高2)	42.66(GR)
②尾藤 峻 (佐久長聖高2)	32.89
③渡邊 玄埜 (穂高商高3)	31.27
▶ハンマー投(6.000kg)	
①渡邊 玄埜 (穂高商高3)	51.51
②岡村 聡真 (穂高商高2)	50.51
③刈間 拓己 (長野工高3)	40.71
【男子少年共通】	
▶110mH(0.991m) (+0.7)	
①小口 蒼葉 (東海大諏訪高2)	14.10(GR)
②相場 遥心 (佐久長聖高1)	14.98
③近藤 嵐 (佐久長聖高1)	15.65
【女子】	
▶100m (-0.2)	
①深澤 あまね (中央大3)	12.36
②橋本 春花 (佐久長聖高3)	12.58
③中津 晴葉 (青学大3)	12.59
▶200m (-3.0)	
①深澤 あまね (中央大3)	25.55
②寺平 祈愛 (佐久長聖高1)	25.75
③三嶋 渚沙 (下伊那農高3)	26.38
▶400m	
①阪 千都 (東海大諏訪高2)	1:01.61
②濱 琉色 (南箕輪中2)	1:02.34
③春日 そら (長野俊英高3)	1:02.49
▶800m	
①阪 千都 (東海大諏訪高2)	2:16.64
②増沢 結 (東海大諏訪高3)	2:25.77
③桑原 実世 (佐久長聖高3)	2:26.10
▶1500m	
①窪田 舞 (長野東高2)	4:41.06

②橋詰 史歩 (長野東高3)	4:48.00
③真柴 愛里 (長野東高1)	4:48.01
▶3000m	
①宮沢 沙耶乃 (屋代高3)	10:31.20
②山口 七海 (松本深志高2)	10:35.83
③近藤 美波 (松本深志高2)	10:39.72
▶100mH(0.838m) (-0.7)	
①中津 晴葉 (青学大3)	14.14(GR)
②南澤 明音 (松本土建)	14.48(GR)
③佐伯 風帆 (佐久長聖高3)	14.54(GR)
▶400mH(0.762m)	
①南澤 明音 (松本土建)	59.53(GR)
②金森 佑奈 (EASTERS)	1:06.30
③吉田 彩葉 (佐久長聖高2)	1:07.40
▶2000mSC(0.762m)	
①滝澤 舞 (上田高3)	8:25.39(GR)
▶5000m競歩	
①諸岡 明日佳 (長野工高3)	27:03.17
②後小路 葉月 (野沢北高2)	28:23.87
③竹内 明里 (飯山高3)	28:25.36
▶4×100m	
①佐久長聖高	49.79
②市立長野高	50.33
③長野日大高	51.06
▶4×400m	
①佐久長聖高	4:07.44
②市立長野高	4:16.34
③松本県ヶ丘高	4:19.96
▶走高跳	
①片平 真理子 (NAGANOAPPLES)	1.55
②村山 羽乃 (佐久長聖高2)	1.55
③岩下 季実佳 (松本深志高2)	1.50
▶棒高跳	
①岡田 莉歩 (佐久長聖高3)	3.60
②佐藤 里桜 (日女体大2)	3.30
③田中 愛 (松本大4)	3.20
▶走幅跳	
①柳平 紗希 (ChinoAs3)	5.56(+1.3)
②金子 亜瑠 (長野日大高2)	5.55(+4.4)
③小林 南実 (LIFEMESSAGE)	5.50(+1.5)
▶三段跳	
①金子 亜瑠 (長野日大高2)	11.66(+0.6)
②大森玲花 (佐久長聖高1)	11.23(+1.0)
③関口 蒔琉 (野沢北高3)	11.16(+2.4)
▶砲丸投(4.000kg)	
①小林 弥希 (松本大4)	12.08
②松林 彩 (長野東高3)	11.26
③松林 萌 (松本大2)	11.19

▶円盤投(1.000kg)	
①岩下 早紀 (ターミナル)	29.53
②角崎 美沙都 (松本深志高2)	28.13
③北沢 真輝 (松本国際高1)	25.00
▶ハンマー投(4.000kg)	
①荒木 ななせ (梓川高3)	45.41
②藤原 琴乃 (穂高商高3)	38.24
③一志 琉月 (松本国際高3)	35.47
▶やり投(600g)	
①倉田 紗優加 (慶応大1)	47.79
②山田 捺葵 (中野立志館高3)	38.95
③松林 萌 (松本大2)	37.71
【女子少年B】	
▶100mH(0.762-8.5m) (-1.2)	
①阪 真琴 (塩尻広陵中3)	14.57(GR)
②大森 玲花 (佐久長聖高1)	15.11
③並木 彩華 (佐久長聖高1)	15.58

◆第76回長野県陸上競技選手権大会マラソン競技 4月23日(日)

長野マラソン長距離競走路

【男子】

①牛山 純一 CITY RUNNER	2:18:23
②日野 志朗 RUN JOY	2:18:54
③甘利 大祐 コトウ工業	2:26:44

【女子】

①嶋田 早紀 信大医陸	2:48:02
②秋山 穂乃果 長野市陸協	2:49:08
③白井 夏海 下高井郡陸協	2:59:14



第25回長野マラソン大会スタート

◆令和5年度長野県高等学校総合体育大会陸上競技大会 5月26～28日 長野

【男子】

▶100m (+1.8)	
①西澤 諒 (松本美須ヶヶ丘2)	10.63
②船本 力生 (長野3)	10.74
③前嶋 大希 (佐久長聖3)	10.81
▶200m (+3.9)	
①鈴木 慎吾 (東海大諏訪3)	21.39
②宮本 昇舞 (長野工業3)	21.47
③青山 凌大 (市立長野2)	21.69
▶400m	
①山田 瑛太 (松商学園3)	49.10

②山口 智也 (東海大諏訪2) 49.30

③小須田 翔 (野沢南2) 50.41

▶800m

①梅原 悠良 (上田西3) 1:54.52

②松山 優太 (佐久長聖2) 1:54.87

③勝山 大珠 (市立長野3) 1:55.43

▶1500m

①濱口 大和 (佐久長聖2) 3:50.75

②小澤 優翔 (上伊那農3) 3:52.69

③松山 優太 (佐久長聖2) 3:52.76

▶5000m

①濱口 大和 (佐久長聖2) 14:15.25

②山口 竣平 (佐久長聖3) 14:25.98

③篠 和真 (佐久長聖2) 14:32.62

▶110mH(1.067m) (+0.9)

①小口 蒼葉 (東海大諏訪2) 14.57(GR)

②中村 駿汰 (松本国際2) 14.96

③山本 祐弥 (佐久長聖2) 15.22

▶400mH(0.914m)

①降幡 諒成 (佐久長聖3) 53.73

②徳嵩 力也 (市立長野3) 54.60

③山本 祐弥 (佐久長聖2) 54.68

▶3000mSC(0.914m)

①永原 颯磨 (佐久長聖3)

8:41.53(KR GR)

②遠藤 大成 (佐久長聖3) 8:54.58(GR)

③佐々木 哲 (佐久長聖2) 9:03.76(GR)

▶5000m競歩

①小島 颯翔 (丸子修学館3) 22:45.25

②大原 翔輝 (上田西3) 23:05.83

③西方 蓮太郎 (長野工業3) 23:23.08

▶4×100m

①佐久長聖 42.44

②東海大諏訪 42.57

③飯山 42.73

▶4×400m

①佐久長聖 3:19.31

②東海大諏訪 3:20.90

③松本国際 3:21.08

▶走高跳

①高田 真平 (松本県ヶ丘3) 1.90

②鷲尾 雄飛 (市立長野2) 1.80

②下村 考輝 (高遠3) 1.80

▶棒高跳

①五味 駿太 (諏訪清陵2) 3.90

②塩原 拓実 (長野工業3) 3.90

③日達 羽流 (東海大諏訪3) 3.70

▶走幅跳

①荒井 陽呂実 (飯山3) 7.17(+1.8)

②山浦 雅斗 (野沢南3) 6.97(+1.5)

③柿澤 一護 (長野俊英2) 6.95(+0.5)

▶三段跳

①筒木 順 (松本国際3) 14.14(+2.7)

②高田真平(松本県ヶ丘3) 14.10(+3.1)

③佐藤 駿也 (飯山3) 13.91(+2.3)

▶砲丸投(6.000kg)

①深澤 恒頼 (長野吉田3) 14.59

②小山 翔平 (佐久長聖3) 12.72

③尾藤 峻 (佐久長聖2) 12.24

▶円盤投(1.750kg)

①井澤 真成 (松本国際2) 40.54

②岡村 聡真 (穂高商2) 35.67

③渡邊 玄埜 (穂高商3) 35.16

▶ハンマー投(6.000kg)

①渡邊 玄埜 (穂高商3) 53.27

②岡村 聡真 (穂高商2) 52.06

③刈間 拓己 (長野工業3) 44.59

▶やり投(800g)

①倉田 晃輔 (伊那北2) 52.82

②林 智輝 (松本県ヶ丘3) 52.48

③中野 湊 (田川2) 51.97

▶八種競技

①降幡 諒成 (佐久長聖3) 5448

②大木 咲翔 (上田西3) 4843

③西尾 誓 (佐久長聖1) 4768

▶学校対校

①佐久長聖 157点

②東海大諏訪 58点

③市立長野 44.5点

【女子】

▶100m (-0.9)

①宮澤 けい (市立長野3) 12.39

②福田 笑未 (東海大諏訪3) 12.43

③橋本 春花 (佐久長聖3) 12.47

▶200m (-0.5)

①寺平 祈愛 (佐久長聖1) 24.97

②宮澤 けい (市立長野3) 25.02

③福田 笑未 (東海大諏訪3) 25.25

▶400m

①石崎 智紗 (伊那北3) 59.35

②阪 千都 (東海大諏訪2) 59.40

③春日 そら (長野俊英3) 59.73

▶800m

①阪 千都 (東海大諏訪2) 2:16.24

②唐澤 愛佳 (伊那弥生ヶ丘3) 2:18.96

③増沢 結 (東海大諏訪3) 2:20.50

▶1500m

①窪田 舞 (長野東2) 4:26.38(GR)

②真柴 愛里(長野東1) 4:37.36

③唐澤 愛佳(伊那弥生ヶ丘3)4:41.38

▶3000m

①窪田 舞 (長野東2) 9:39.06

②名和 夏乃子 (長野東3) 9:58.79

③長井 彩華 (長野東3) 10:07.17

▶100mH(0.838m) (+0.6)

①佐伯 風帆 (佐久長聖3) 14.07(GR)

②小松 理紗 (松本国際3) 14.71

③唐澤 さくら (佐久長聖3) 14.86

▶400mH(0.762m)

①佐伯 風帆 (佐久長聖3) 1:02.76

②逸見 加奈子 (伊那北3) 1:03.86

③春日 そら (長野俊英3) 1:04.76

▶5000m競歩

①後小路 葉月 (野沢北2) 25:54.01

②諸岡 明日佳 (長野工業3) 25:55.09

③上條 佑依 (松本県ヶ丘2) 27:31.44

▶4×100m

①佐久長聖 47.92

②市立長野 48.44

③長野日大 49.52

▶4×400m

①佐久長聖 3:59.46

②東海大諏訪 4:04.57

③松本国際 4:06.15

▶走高跳

①降旗 菜央 (松本国際2) 1.58

②上村 文寧 (諏訪二葉3) 1.58

③小森 玲那 (飯山2) 1.55

▶棒高跳

①岡田 莉歩 (佐久長聖3)

3.90(=KR =GR)

②小林 ひより (佐久長聖2) 3.30

③深尾 美希 (長野工業3) 3.10

▶走幅跳

①金子 亜瑠 (長野日大2) 5.58(+1.8)

②富井 詩子 (飯山3) 5.50(+2.0)

③関口 蒔琉 (野沢北3) 5.42(+2.2)

▶三段跳

①金子 亜瑠 (長野日大2) 11.64(+3.1)

②大森 玲花 (佐久長聖1) 11.58(+2.3)

③関口 蒔琉 (野沢北3) 11.44(+4.1)

▶砲丸投(4.000kg)

①松林 彩 (長野東3) 11.64

②北沢 真輝 (松本国際1) 9.97

③柳澤 歩乃(佐久長聖2) 9.73

▶円盤投(1.000kg)

①荒木 ななせ(梓川3) 31.82

②横山 夏南(長野吉田2) 28.60

③柳澤 歩乃(佐久長聖2) 28.01

▶ハンマー投(4.000kg)

①荒木 ななせ(梓川3) 44.76

②藤原 琴乃(穂高商3) 39.35

③一志 琉月(松本国際3) 38.03

▶やり投(600g)

①山田 捺葵(中野立志館3) 40.62

②城倉 涼花(伊那弥生ヶ丘3) 36.11

③日比 咲杏(長野商業2) 34.94

▶七種競技

①大森 玲花(佐久長聖1) 4383

②富井 詩子(飯山3) 3749

③並木 彩華(佐久長聖1) 3642

▶学校対校

①佐久長聖 151.5点

②長野東 49点

③東海大諏訪 48点

◆第30回長野県中学校陸上競技混成(四種)競技大会 6月17日(土) 長野

【男子共通】

▶四種競技

①片瀬 聖(広徳3) 2385

②赤穂 一晟(鎌田2) 2204

③須田 岳琉(野沢3) 2174

【女子共通】

▶四種競技

①阪 真琴(塩尻広陵3) 2577

②荻原 怜愛(軽井沢A&AC1) 2336

③勝野 光咲(長峰3) 2258

◆第40回長野県小学生陸上競技大会

6月18日(日) 長野

【4年男子】

▶100m (+3.4)

①清水 彪牙(赤穂小4) 14.32

②笠原 遥陽(松川陸上クラブ4) 14.43

③山口 蓮人(あさまねSC4) 14.60

【5年男子】

▶100m (+3.4)

①山崎 大和(三郷小5) 13.01

②宮川 凌(青木島小5) 13.92

③務台 希(Mt.Rex5) 13.97

【6年男子】

▶100m (+1.9)

①村上 悠(波田小6) 12.24(ER GR)

②戸田 環汰(赤穂南小6) 12.94

③小松原 暖(赤穂南小6) 13.22

【5.6年男子】

▶1000m

①堀内 陸希(長野市陸上教室6) 3:03.18

②増田 溪一朗(旭ヶ丘小6) 3:07.96

③吉川 銘二(戸上ジュニア76) 3:09.70

▶コンバインドA

①橋詰 悠斗(T&F佐久平6) 2070

②新津 勘太郎(軽井沢A&AC6) 2034

③波能 翔人(T&F佐久平6) 1998

【5.6年男子】

▶コンバインドB

①佐藤 秀瑚(佐久トリム6) 2321(GR)

②小泉 陽暖(豊田小6) 2295

③笠原 豪喜(豊田小6) 2060

【4年女子】

▶100m (+2.7)

①扇田 紗季(諏訪FA4) 14.94

②林 真央(長地小4) 15.15

③伊藤 凜乃(芳川小4) 15.18

【5年女子】

▶100m (+3.2)

①小林 実咲(伊那小5) 13.62

②飯田 梨花(ChinoAs5) 14.20

③柏原 優子(岡田小5) 14.25

【6年女子】

▶100m (+2.3)

①平田 桜奈(飯島小6) 13.58

②河野 恵子(ChinoAs6) 13.88

③伊東 砂良(アスレカ6) 13.89

【5.6年女子】

▶1000m

①田畑 真子(岡谷田中小6) 3:12.04

②齋藤 穂果(戸上ジュニア76) 3:12.44

③田中 栞(長野市陸上教室6) 3:13.37

▶コンバインドA

①山口 葵生(軽井沢A&AC5) 2180

②柳澤 妃菜(佐久トリム6) 2061

③林 かなえ(軽井沢A&AC6) 1862

▶コンバインドB

①柳平 想乃(ChinoAs6) 2023(ER GR)

②北原 琴羽(坂城JAC6) 1782

③久保田 姫彩(下條小5) 1639

【男女混合】

▶4×100m

①松川陸上クラブ 54.03

②T&F佐久平 54.55

③芝沢小 57.65

◆第62回長野県中学校総合体育大会夏季大会陸上競技の部

7月1日(土)・2日(日) 長野

【男子1年】

▶100m (-0.7)

①田中 浩輝(鎌田1) 12.33

②佐藤 叶寅(岡谷南部1) 12.38

③小野 颯馬(清陵附属1) 12.42

【男子2年】

▶100m

①竹田 サムエル(丘2) 11.82

②北原 大翔(三郷2) 11.94

③柳澤 大輝(須坂東2) 11.95

【男子3年】

▶100m (+0.7)

①中澤 創(柳町3) 11.22

②上田 暖幸(赤穂3) 11.22

③久保 奏都(広徳3) 11.31

【男子共通】

▶200m (-1.0)

①稲田 夢生(三郷3) 22.86

②小島 千空(南箕輪3) 22.89

③元吉 大翔(春富3) 23.17

▶400m

①中尾 グスタフ(白馬3) 50.64

②野村 陽斗(南箕輪3) 51.49

③佐藤 柊希(御代田3) 51.58

▶800m

①飯澤 星(諏訪南3) 2:00.63

②永田 航大(波田2) 2:00.66

③黒木 玲雄(依田窪南部2) 2:02.60

【男子1年】

▶1500m

①佐藤 新太(裾花1) 4:18.59(GR)

②三澤 岳士(豊科北1) 4:21.63

③中城 大登(赤穂1) 4:32.40

【男子2・3年】

▶1500m

①中澤 侑己(堀金2) 4:12.88

②富永 陽介(山辺3) 4:15.78

③大村 春樹(塩尻3) 4:16.38

【男子共通】

▶3000m

①野島 将夫 (三郷3)	8:56.23
②滝澤 秀斗 (赤穂3)	8:58.55
③西澤 惟定 (茅野東部3)	9:03.21
▶110mH(0.914m) (-1.1)	
①橋詰 蓮平 (野沢3)	15.07
②小口 双葉 (諏訪西3)	15.13
③高野 徳之 (赤穂3)	15.40
【男子1・2年】	
▶4×100m	
①長野東部	49.64
②宮田	50.31
③広徳	50.37
【男子共通】	
▶4×100m	
①赤穂	43.88(GR)
②柳町	44.28
③南箕輪	44.94
【男子共通】	
▶走高跳	
①小平 楓 (長峰3)	1.90
②藤岡 悠人 (赤穂3)	1.79
③久保 桜河 (篠ノ井東3)	1.79
▶棒高跳	
①牧 慶貴 (茅野東部3)	3.60
①高橋 輝 (箕輪3)	3.60
③小松 瑠希 (箕輪3)	3.50
【男子1年】	
▶走幅跳	
①大森 琥明 (岡谷南部1)	5.26(+0.3)
②渡邊 陽翔 (飯山城北1)	4.80(+1.0)
③黒田 遼 (長野東部1)	4.79(+2.1)
【男子2・3年】	
▶走幅跳	
①池田 仁 (茅野東部3)	6.30(0.0)
②吉川 颯真 (丸ノ内3)	6.04(+0.4)
③花村 武琉 (豊科北2)	5.92(-0.2)
【男子共通】	
▶砲丸投(5.000kg)	
①小柳 勇斗 (七二会3)	13.19
②小口 寛人 (塩尻広陵3)	10.73
③成田 将吾 (駒ヶ根東3)	10.55
▶四種競技	
①片瀬 聖 (広徳3)	2514
②飯山 想斗 (茅野東部3)	2304
③須田 岳琉 (野沢3)	2283
【女子1年】	
▶100m (+1.2)	
①岩嶋 亜依 (長野日大1)	13.02

②高木 穂菜実 (伊那1)	13.02
③竹村 咲愛 (篠ノ井西1)	13.47
【女子2年】	
▶100m (-1.3)	
①林 明奏里 (信大附属長野2)	12.66
②柳 美結 (高森2)	13.19
③長岩 里桜 (赤穂2)	13.22
【女子3年】	
▶100m (+1.0)	
①宮澤 希 (飯田西3)	12.17
②中村 波南 (大町3)	12.50
③鎌倉 梨々華 (佐久長聖3)	12.81
【女子共通】	
▶200m (-1.0)	
①塩澤 みのり (飯田高陵3)	26.73
②西沢 桜 (柳町3)	26.90
③川船 菜々花 (松島3)	27.12
▶800m	
①北原 和 (上田第三3)	2:18.29
②森田 華音 (波田3)	2:19.04
③山崎 凜奏 (高社3)	2:19.33
▶1500m	
①川上 南海 (赤穂3)	4:38.69
②北原 風花 (箕輪2)	4:48.62
③原 梨珠 (赤穂1)	4:49.74
▶100mH(0.762-8.0m) (+1.1)	
①阪 真琴 (塩尻広陵3)	14.37
②櫻井 玲未 (佐久穂3)	14.96
③中山 桃 (諏訪南3)	15.05
【女子1・2年】	
▶4×100m	
①東北	53.71
②永明	54.01
③緑ヶ丘	54.68
【女子共通】	
▶4×100m	
①赤穂	51.13
②大町	51.28
③塩尻広陵	51.82
【女子共通】	
▶走高跳	
①市川 凜子 (開成3)	1.51
②柿澤 由那 (丸ノ内3)	1.48
③吉水 麻紀 (岡谷東部2)	1.48
▶棒高跳	
①籠田 心優 (春富3)	2.90
②伊藤 愛莉 (長峰2)	2.60
②松崎 望乃 (原2)	2.60

【女子1年】	
▶走幅跳	
①荻原 推 (軽井沢A&AC1)	4.93(+0.3)
②安藤 凜 (緑ヶ丘1)	4.82(+1.7)
③渡邊 紗良 (高瀬1)	4.78(+1.5)
【女子2・3年】	
▶走幅跳	
①柳平 紗希 (茅野北部3)	5.63(+1.4)
②櫻井 音寧 (緑ヶ丘3)	5.36(+0.9)
③海老原 千咲 (諏訪南2)	5.02(0.0)
【女子共通】	
▶砲丸投(2.721kg)	
①青木 優依 (七二会3)	11.85
②川元 唯楓 (野沢2)	11.49
③中嶋 美代 (野沢3)	10.21
▶四種競技	
①勝野 光咲 (長峰3)	2427
②荻原 怜愛 (軽井沢A&AC1)	2393
③田中 杏 (浅間2)	2304

◆第60回関東信越地区高専陸上競技対校選手権大会(長野高専3位内入賞のみ掲載)7月1日、2日(日)八王子市上柚木

【男子】

▶400m	
①犬飼 侑樹 (小山5)	49.36
②吉澤 涼 (長野5)	51.29
③鈴木 啓真 (長野4)	52.02
▶800m	
①中澤 耕平 (長野3)	1:57.39
②吉澤 涼 (長野5)	1:57.45
▶1500m	
①藤田 正勝 (茨城4)	4:08.67
②中澤 耕平 (長野3)	4:14.18
▶5000m	
①嶋津 明良 (長岡3)	16:41.90
②宮尾 大空 (長野3)	16:44.20
▶110mH (+1.2)	
①深森 博英 (長岡3)	15.39
②宮崎 凌央 (長野3)	15.58
▶400mH	
①犬飼 侑樹 (小山5)	52.39 GR
②宮崎 凌央 (長野3)	55.40
③岩渕 聡志 (長野5)	57.95
▶3000mSC	
①北原 浩太 (長野4)	10:33.93
▶4×100m	
①長岡	42.78

②長野	43.38
▶4×400m	
①長野	3:22.89
▶走幅跳	
①村本 瑛(長野4)	6.82(0.7)
▶三段跳	
①村本 瑛(長野4)	13.42(-1.2)
③沖田 翔(長野3)	12.66(0.9)
▶砲丸投(6.000kg)	
①木藤 海琉(長野4)	13.44
▶円盤投(1.750kg)	
①石島 健太郎(産技品川4)	35.98
②木藤 海琉(長野4)	28.27
▶やり投(800g)	
①伊藤 燦(長野2)	46.36
③藤巻 咲来(長野3)	45.71
【女子】	
▶100m(+0.6)	
①小柳 梨乃(長野3) 12.38GR、地区新	
▶200m(-0.4)	
①小柳 梨乃(長野3) 25.69GR、地区新	
▶800m	
①金子 美乃莉(群馬4)	2:37.04
②竹内 彩夏(長野3)	2:40.32
▶3000m	
①金子 美乃莉(群馬4)	11:32.75
③金古 由宇(長野1)	12:38.33
▶100mH(-0.6)	
③小柳 梨乃(長野3)	16.60
▶4×100m	
①長野	54.35
▶走高跳	
①佐藤 凜(木更津5)	1.53
②佐藤 珠生(長野2)	1.40
▶走幅跳	
①佐藤 凜(木更津5)	4.84(+0.2)
③佐藤 珠生(長野2)	4.58(0.0)
▶砲丸投(4.000kg)	
①永原 璃桜(長野5)	11.54
③坂爪 美柚(長野4)	8.24
▶円盤投(1.000kg)	
①永原 璃桜(長野5)	34.45
②坂爪 美柚(長野4)	28.58
▶やり投(600g)	
①永原 璃桜(長野5) 38.02 GR、地区新	
③竹内 ひより(長野2)	25.99
男子総合1位 169点 2位木更津97点	
女子総合1位 121点 2位木更津97.5点	

◆第76回長野県陸上競技選手権大会

7月8日(土)~9日(日) 長野

【男子】

▶100m (+0.2)

①福澤 耀明(東海大1) 10.42(CR)

②永井 颯太(松本大3) 10.48

③鈴木 慎吾(東海大諏訪高3) 10.53



▶200m (-1.6)

①酒井 幹汰(大東大2) 21.55

②高橋 和真(LMAC) 21.97

③名取 勇人(東海大1) 22.18

▶400m

①小坂 晃大(東海大4) 47.22(=CR)

②名取 勇人(東海大1) 49.11

③高橋 一輝(LMAC) 49.26

▶800m

①高橋 一輝(LMAC) 1:51.74

②牧田 蒼斗(信州大M) 1:52.61

③梅原 悠良(上田西高3) 1:53.31

▶1500m

①日野 志朗(RUNJOY) 3:57.39

②梅原 悠良(上田西高3) 3:59.19

③中村 駿吾(信州大M) 4:02.32

▶5000m

①高梨 良介(トハツ) 14:55.86

②井上 祐希(都留文大3) 15:05.83

③白川 大地(RUNJOY) 15:10.82

▶10000m

①高梨 良介(トハツ) 31:21.83

②桃澤 大祐(Lycaons) 31:34.15

③山崎 淳平(愛知淑徳大4) 33:19.03

▶110mH(1.067m) (+2.8)

①小口 蒼葉(東海大諏訪高2) 14.28

②飯島 大陽(明大3) 14.32

予選 14.38(+1.4)=GR

③漆原 奏哉(仙台大2) 14.62

▶400mH(0.914m)

①岡村 州紘(日本大M) 50.70

②石川 泰地(埼玉大4) 52.96

③降幡 諒成(佐久長聖高3) 53.38

▶3000mSC(0.914m)

①金森 柊弥(佐久平総合高3) 9:30.49

②田下 輝稀(上田西高3) 9:35.75

③熊谷 航陽(上田西高3) 9:38.88

▶5000m競歩

①柳澤 優斗(トハツ) 22:02.69

②鈴木 淳也(日大1) 22:19.56

③大原 翔輝(上田西高3) 23:06.03

▶4×100m

①LMAC 41.18

②松本大 41.64

③松本国際高 41.88

▶4×400m

①LMAC 3:14.61

②松本大 3:16.23

③佐久長聖高 3:18.23

▶走高跳

①芋川 駿(NAGANOAPPLES) 2.10

②中村 伊吹(松本大1) 2.00

③片平 大地(NAGANOAPPLES) 1.95

▶棒高跳

①中谷 息吹(東海大1) 4.60

②大西 裕基(信州大M) 4.50

③石坂 翼海(松本大4) 4.40

▶走幅跳

①山浦 凖斗(千葉・勝浦ゴルフ)

7.92(-1.3)(CR)

②松岡 晃輝(長野市陸協)

7.80(+0.9)(CR)

③石坂 翼海(松本大4) 7.28(-0.6)

▶三段跳

①中山 昂平(東京・渡辺パ・17°) 16.16(+0.9)

②小山 敦司(駿河台大3) 15.20(+0.8)

③櫻井 大幹(軽井沢A&AC) 14.40(+2.0)

▶砲丸投(7.260kg)

①米倉 朋輝(協栄電気興業) 16.00

②高橋 勇翔(新潟医福大1) 13.98

③北村 将也(お山の接骨院) 13.50

▶円盤投(2.000kg)

①北村 将也(お山の接骨院) 46.17

②米倉 朋輝(協栄電気興業) 43.31

③岡村 樹優(安曇野AC) 39.63

▶ハンマー投(7.260kg)

①萩原 倅司(松本土建) 53.88

②神田 雅翔(松本大3) 51.54

③大日方 栄貴(長野高専AC) 49.35

▶やり投(800g)

①新垣 暁登(LMAC) 66.90

長野陸協会議録・お知らせ・Topics 他

*****【会議録】*****

臨時理事会(Web) 5月1日(月)19時30～20時35分

出席者:理事19名、監事1名、理事以外の出席者5名

I. 協議事項 全ての議案は原案通り承認された。

第1号 2021年度スポーツ振興助成金実態調査の調査結果に基づく改善について(案)

第2号 松本マラソンについて(案)

第3号 長野車いすマラソンの反省と課題について(案)

第4号 小学生の日本陸連・長野陸協登録について(案)

第5号 長野県小学生大会要項(案)

II. 報告事項

1. 日本陸連理事会関係 栄章確定
2. 長野マラソン・市町村対抗駅伝について
3. その他

第79回理事会 5月27日(土)18時15分～19時15分

場所:長野市東和田体育館1F長野市スポーツ協会会議室

出席者:理事17名、監事2名、理事以外の出席者2名

I. 協議事項 全ての議案は原案通り承認された。

第1号 2022年度事業報告(案)

第2号 2022年度一般会計決算(案)

第3号 2023年度一般会計第一次補正予算(案)

第4号 文科大臣表彰「生涯スポーツ優良団体」候補(案)

第5号 長野県縦断駅伝競走大会について(案)

第6号 各種規定の一部改正について(案)

第7号 終了した大会の反省について(案)

その他

II. 報告事項

1. 2024年度以降の対外的競技会について
 2. 小学生登録について
 3. 松本マラソンについて
- その他

第34回定時評議員会 6月10日(土)13時30分～14時40分

場所:安曇野市ANCアリーナ会議室

出席者:評議員9名、理事11名、監事1名

I. 協議事項 全ての議案は原案通り承認された。

第1号 2022年度事業報告(案)

第2号 2022年度一般・特別会計決算(案)

第3号 2023年度一般会計補正予算(案)

第4号 2023-2024年度 理事・監事の選任について(案)

第5号 名誉副会長の承認(案)

II. 報告事項

1. 長野陸協諸規程の改正について
2. 文科大臣表彰「生涯スポーツ優良団体」候補の推薦
3. 2023年度県縦断駅伝競走大会について
4. 県縦断駅伝コース・中継所案について
5. 2024年度以降の対外的競技会について
6. 終了した大会の反省

7. 小学生登録について
8. 2023年度事務局について

第80回理事会 6月10日(土)15時30分～17時45分

場所:安曇野市ANCアリーナ会議室

出席者:新理事22名、監事1名、理事以外の出席者2名

I. 協議事項 全ての議案は原案通り承認された。

第1号 会長の選出

第2号 副会長、専務理事、常務理事の選出

第3号 専門委員会・特別委員会の委員長、部長の選任

第6号 本協会選出の各種委員等について(案)

第4号 名誉役員<顧問・参与>(案)について

第5号 本協会派遣大会の団長・監督の選任(案)について

第7号 旅費規程の改正(案)と本協会主催・主管大会の審判編成方針等(案)

第8号 「年報2023」、会報178・179・180号発行手順(案)

その他

II. 報告事項

1. 事務局担当について
2. 今回の競技会について
3. 松本マラソンについて
4. 新松本競技場進捗状況
5. その他

*****【お知らせ・Topics】*****

1. バンコク 2023 アジア陸上競技選手権大会

(第25回アジア陸上競技Ch) 7/12～16、タイ次の長野県関係者が選出されました(敬称略)。

君嶋 愛梨沙(土木管理 100、200、4×100m)

川元 奨(スズキ 800m)、児玉 悠作(ジマ 400mH)

2. 第19回アジア競技大会 中国・杭州

9月29日(金)～10月5日(木)(2022/9/10～25開催予定が本年に延期されたものです)

上記同様3名が「内定」しています。(敬称略)

君嶋 愛梨沙(土木管理 100、200m)

川元 奨(スズキ 800m)、児玉 悠作(ジマ 400mH)

3. ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会

7/30(日)世界Ch参加標準記録有効期間が終了し、8/2(水)WAから参加資格者等公表されます。

開催日 8/19(土)～8/27(日)

会場 ブダペスト(ハンガリー)

本県関係者の内定はありませんが、400mH児玉悠作さんが、参加標準記録 48.70 までにあと 0.07 秒に迫っています。アジア競技大会での突破を期待しています。

4. JAAF-START: 日本陸連登録について

・未登録の方=登録開始直後に作業を行った方、中学、高校顧問の先生方が登録料未払いで「未登録」になっている場合がありますので確認願います。

・JAAF-START にログインし、氏名検索で Hit しない方及び Hit し、「支払い一覧」で支払いデータが出ない方は未登録状態です。

・代表者等のメールアドレスで登録済みの方は、
【仮登録状態の会員】となっています。極力、個人
のメールアドレスを登録し、【警告メッセージ】が
消えるようお願いします。

5. 松本マラソン審判員について：ご出席可能な方は、
松本マラソン担当田澤稔常務理事、または事務局
宛にご連絡願います。

6. 第 31 回 abn スポーツ大賞 長野東高校陸上競技
部女子駅伝チーム(写真右上)が「大賞」に、「新人
賞」に吉岡大翔さん(順天堂大学：佐久長聖高校出
身)が 2022 年度の活躍をもとにそれぞれ選出され
ました。去る 6 月 19 日長野市内のホテルで授賞式
がありました。誠にありがとうございました。今後の
ますますのご活躍を期待しております。

お礼：表紙の上段「永原君の日本高校新」の写真は、月刊陸上
競技ほかを執筆されている 陸上競技ライター 永田 真樹様
にご提供いただきました。ここに記して御礼とさせていただきます。
ありがとうございます。(下段は内山撮影)

お悔やみ (2023/3/28 ~ 2023/7/12)

陸上競技並びに本協会発展のために、永年
にわたる多大なるご尽力に感謝申し上げます。

謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

逝去者 支部 逝去日 享年
(元会員) 若松 軍蔵 長野市 7.01 79



***** 第 178 号 もくじ *****

- 2 法人化後 第13期 役員(理事・監事)改選
- 6 寄稿「第80回理事会(新理事)から」
- 7 会長代行、副会長 退任挨拶
- 8 会員以外のスポーツ情報の提供「パラスポーツ紹介」
- 9 第25 回長野マラソン開催の舞台裏
- 10 松本平広域公園補助陸上競技場・改修工事進捗状況
- 12 2022年度 公益財団法人日本陸上競技連盟 栄章伝達式
- 13 第6回登録団体訪問 第72回長野県縦断駅伝について
- 14 2023年北海道インターハイに向けて & 北信越高校結果
- 15 第32回長野県市町村対抗駅伝 第18回小学生駅伝結果
- 16 主要大会結果一覧
- 23 長野陸協会議録・お知らせ・Topics. くじ助成理念広告

本号もJSC(独立行政法人日本スポーツ振興センター)「くじ助成」をいただき発行します。ご協力いただきました皆様方に御礼申し上げます。役員が改選され業務が本格化していますが、波に乗るまでもう少し時間が必要ですのでよろしくお願い致します。

- ◆ 発行所 一般財団法人長野陸上競技協会
- ◆ 発行・編集 事務局、理事会、代表理事 内山 了治
<https://nagano-rk.com/> info07@nagano-rk.com

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ

